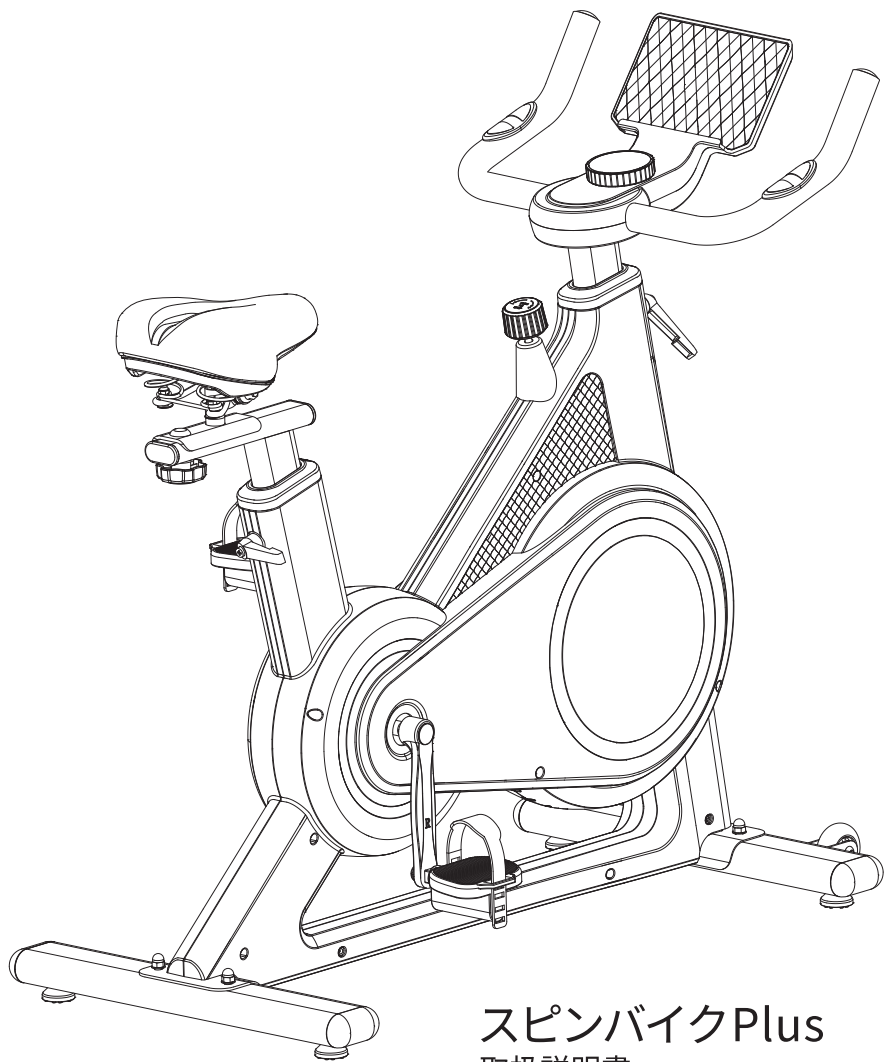


**STEADY**



## スピンバイクPlus 取扱説明書

組立て動画



STEADY スピンバイク Plus 組立て動画



## ■ 安全にご使用いただくために

この取扱説明書は大切に保管してください。この度は「スピンバイク Plus」をご購入いただきありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

### 警告

1. 記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用になって生じた如何なる事故につきましても、弊社は一切責任を負いかねます。
2. 本製品はトレーニングを目的としています。本来の用途以外に使用しないでください。説明以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。
3. 本製品の使用や、その他本製品を原因とするトラブル・事故・怪我・機材等の破損について、弊社は一切責任を負いかねます。
4. 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いかねます。

### 組立て前の注意事項

1. 本製品を組立てる際は、本書に記載の方法に従い、内容を守って組立ててください。誤った方法で組立てると、事故の原因になります。
2. 製品は硬く水平な場所で組立ててください。大人の方2人以上での持ち運びや組立てを推奨しております。
3. 設置の際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも約50cmの可動域が確保できる床の上に置いてください。
4. マットを敷くなどして、床や既存の家具に傷がつかないようにご注意ください。万が一床や家具に破損などが生じた場合でも、弊社は一切責任を負いかねます。
5. 本製品の耐荷重は、最大120kgです。

### ご使用上の注意事項

1. 自己責任のもとでトレーニングを行ってください。
2. 周囲に人がいないことを確認の上、安全な場所でご使用ください。本製品は1人用です。使用中は使用者以外は製品に触れないようご注意ください。
3. 本製品は16歳以上の方がご使用いただけるよう設計されています。16歳未満の方は使用しないでください。事故に繋がる恐れがあります。
4. 小さなお子様やペットがいる場所でのトレーニングは避けてください。小さな部品が含まれておりますので、誤飲にご注意ください。
5. ご使用のたびに、ボルトやペダルに緩みや異常がないかご確認ください。ペダルのボルトが緩んでいる場合、ご使用中にパーツが外れ、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
6. 体調が優れない時は使用しないでください。身体に疾患がある方、妊娠中の方は医師に相談してからご使用ください。ご使用中に体調が悪くなった場合は、すみやかに使用を中止して医師の診断を受けてください。
7. 本製品の使用は健康な方を対象としています。治療目的としてのご使用には適しません。
8. 前後左右に強く身体を揺らしたり、不自然な姿勢や不安定な体勢での使用はお控えください。転倒や製品の破損に繋がる可能性があります。
9. 使用中は巻き込みによる怪我を防ぐため、身体のサイズに合った運動着を着用してください。
10. シューズを履いてトレーニングする場合は、靴紐がフィットネスバイクに巻き付かないようにしっかりと締めてください。ペダルには足を入れてしっかりと固定してください。足が固定されていないと、フライホイールの回転も加わって踏み外しやすくなり危険です。
11. フライホイールの回転はすぐに停止できません。脚の力のみでフライホイールを止めようとせず、ハンドルの下にある負荷調整ノブを手で押し、適度にブレーキを使用してください。フライホイールが完全に停止するまで、フィットネスバイクを降りないでください。
12. 本製品の連続使用時間は、最大120分です。それ以上の連続使用はお控えください。120分の使用後は、15～20分のクールダウンの時間を設けてください。

### お手入れと保管について

1. お手入れの際は、柔らかい布などで汚れを拭き取りご使用ください。
2. 鋭いものや腐りやすいものの周りで使用しないでください。
3. 直射日光の当たる場所や暖房機器の影響がある場所で使用しないでください。
4. 水などで濡れた状態で使用しないでください。滑りやすくなるため怪我をする恐れがあります。柔らかい布などで水分を拭き取りご使用ください。

## 梱包部品一覧表

1. 梱包を開封後、組立てを始める前に各部品が揃っているかご確認ください。表内の※の部品は、お届け時に本体や部品に付属しています。
2. 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。その際、下記部品名称をお知らせください。(連絡先:P13)
3. 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまで組立てやご使用をお控えください。
4. 仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

1. 本体 	2. 土台前(車輪付き) 	3. 土台後 
4. 土台接続ボルト×4 ※ 	5. 土台接続ワッシャー×4 ※ 	6. 土台接続ナット×4 ※ 
7. 調整ノブ×2 ※ 	8. サドル ※ 	9. サドルチューブ ※ 
10. サドル前後調整ノブ ※ 	11. ハンドル ※ 	12. ハンドルチューブ ※ 
13. ハンドル接続ボルト×4 ※ 	14. ペダル×2 ※ 	15. ペダルナット×2 ※ 
16. スパナ大(17mm,19mm) 	17. スパナ小(13mm,15mm) 	18. レンチ 

※はお届け時に本体や部品に付属しています

## ■ 組立て手順

YouTubeに組立て動画をご用意しております。QRコードを読み込んでご覧ください。  
お届け時、本体のシルバー部分には保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。



組立て動画

STEP

01

土台を本体に取り付けます

### STEP 1で使用する部品リスト

「\*」は部品に付属しています。

1.本体



2.土台前(車輪付き)



3.土台後



4.土台接続ボルト  
\*



5.土台接続  
ワッシャー \*



6.土台接続ナット \*



17.スパナ小  
(13mm,15mm)



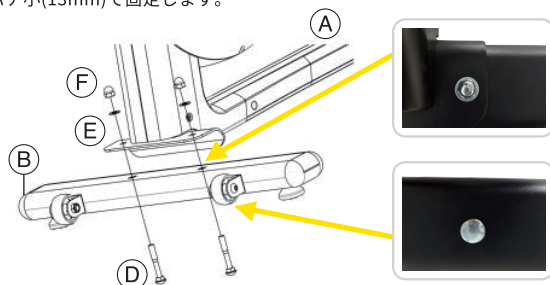
1

⑧土台前(車輪付き)と⑨土台後に付属している⑩土台接続ボルト⑪土台接続ワッシャー⑫土台接続ナットを取り外します。



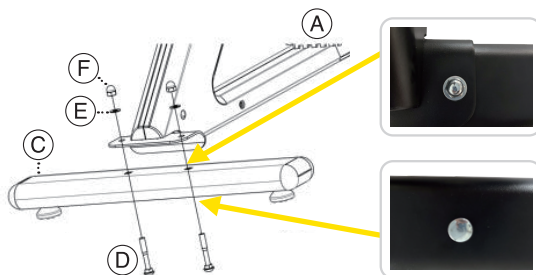
2

①本体に⑧土台前(車輪付き)を取り付けます。①本体と⑧土台前(車輪付き)の取り付け穴を合わせ、⑥土台前の下から⑩土台接続ボルトを通します。上から⑪土台接続ワッシャー⑫土台接続ナットを取り付け、⑬スパナ小(13mm)で固定します。



3

◎土台後も同様に取り付けます。



4

土台の高さを水平アジャスターで調整します。土台下にあるアジャスターを高くしたい場合には右向きに、低くしたい場合は左向きに回してください。



⚠ 注意

水平アジャスターの高さは均一になるよう調整してください。均一でない場合、製品のぐらつきの原因となります。

# STEP 02

## サドルを調整します

### STEP 2で使用する部品リスト

「\*」は本体に付属しています。

7.調整ノブ\*



8.サドル\*



9.サドルチューブ\*



10.サドル前後調整ノブ\*



17.スパナ小  
(13mm,15mm)



1

⑧サドルの高さを調整します。⑨調整ノブを回して緩め、仮留めの状態にします。⑨調整ノブを引っ張りながら、⑩サドルチューブの高さを身長に合わせて調整します。ペダルを漕いでペダルが一番下にきた際に、膝が完全に伸びきる手前の高さに調整します。



2

⑩サドルの位置を前後に調整します。⑩サドル前後調整ノブを回して緩め、⑩サドルを前後に移動させます。⑩サドルに座りハンドルを握ったとき、肘がやや曲がる状態の位置まで調整した後、⑩サドル前後調整ノブをきつく締め直します。



3

⑩サドルの角度を調整します。⑩サドル下部の六角ナットを⑫スパナ小(13mm)で緩め、漕ぎやすい角度に調整し、きつく締め直します。

**⚠ 注意**

ご使用前に、必ず⑩サドルの角度や状態を確認してください。⑩サドルが固定されておらず、六角ナットの締め付けが不十分の場合、傾きやガタ付きの原因となり事故に繋がる場合があります。



**⚠ 注意**

サドルに梱包材の跡が付き、凹みがみられる場合がございますが、時間の経過とともに解消されますので安心してご使用ください。

# STEP 03

ハンドルをハンドルチューブに取り付けます

## STEP 3で使用する部品リスト

「\*」は部品に付属しています。

11.ハンドル



A

12.ハンドルチューブ  
\*



B

13.ハンドル接続  
ボルト \*



C

18.レンチ



D

1

① ①ハンドルに付属している③ハンドル接続ボルトを取り外します。



2

② ①ハンドルのケーブルと②ハンドルチューブから伸びているケーブルを接続します。その際ケーブルをハンドルチューブ内に落下させないようにご注意ください。取り出しが困難な場合がございます。



3

③ ①ハンドルを②ハンドルチューブの取り付け穴に合わせます。③ハンドル接続ボルトを押し込み、④レンチを使用し固定します。

⚠ 注意

- ・③ハンドル接続ボルトの固定が不十分の場合、①ハンドルのガタつきの原因になります。
- ・ケーブルは②ハンドルチューブの凹部分に入れ込んでください。



4

④ ①ハンドルの高さを調整します。本体に付属している調整ノブを回し緩めてから引っ張り、②ハンドルチューブを動かします。身長とサイクリングの経験値に合わせて高さを調整します。



初心者の場合

ハンドルの位置はサドルよりもやや高めになります。



経験者の場合

ハンドルとサドルの高さを同じにするか、ハンドルをサドルに対してやや低めにします。

⚠ 注意

①ハンドルのセンサー部分には保護シールが貼られています。ご使用前に剥がしてください。

# STEP 04

## ペダルを本体に取り付けます

### STEP 4で使用する部品リスト

「\*」は部品に付属しています。

1.本体



14.ペダル



15.ペダルナット  
\*



16.スパナ大  
(17mm,19mm)



17.スパナ小  
(13mm,15mm)



1

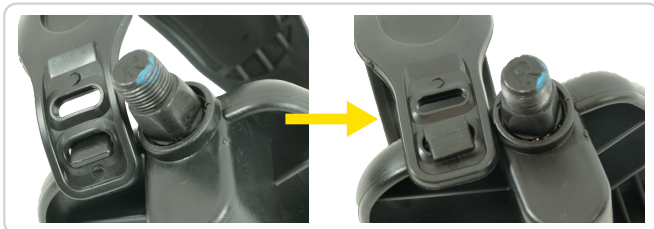
ペダルベルトには右「R」、左「L」の刻印がされています。刻印がされている方を表にしてください。



2

ペダルベルトを⑧ペダルに取り付けます。

⑧ペダルの内側(クランク接続側)のフックに、ペダルベルトの穴を下から引っ掛け、上に引き上げるように取り付けます。下から上へ引き上げる際には強く引っ張り、取り付けてください。⑧ペダル外側も同様の方法で取り付けます。





3

④本体と⑥ペダルにはそれぞれL(左)とR(右)のシールが貼られています。組立て前に確認してください。



4

⑥ペダルに付属している③ペダルナットを⑤スパナ大(19mm)を使用し取り外します。



5

右の⑥ペダルを取り付けます。④本体に⑥ペダルを挿し込み、⑤スパナ小(15mm)を使用し「時計回り」に回します。③ペダルナットを取り付け、⑤スパナ大(19mm)を使用し「反時計回り」に回して固定します。2本のスパナを同時に使用すると、スムーズに取り付けできます。

⚠ 注意

⑥ペダルは地面と平行となる状態にして取り付けてください。



6

左の⑥ペダルを取り付けます。⑥ペダルは「反時計回り」に、③ペダルナットは「時計回り」に回して固定します。



⚠ 注意

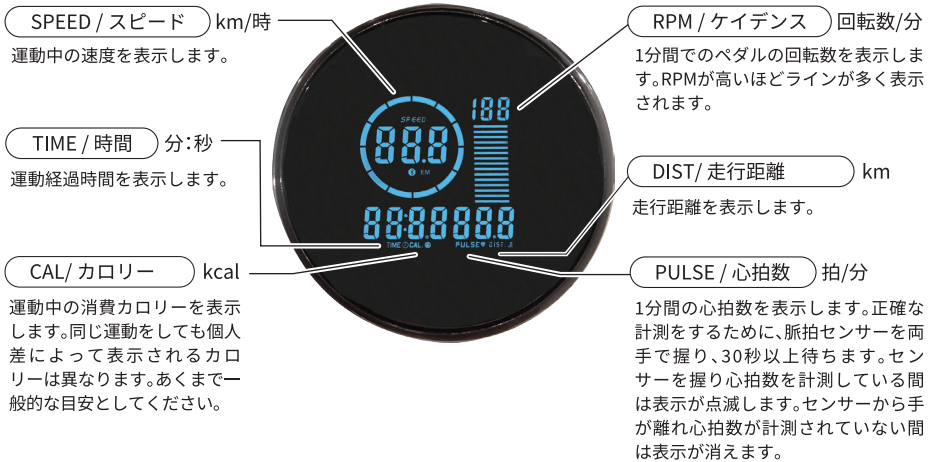
⑥ペダルが回転しなくなるまで十分にスパナで締め付け固定します。締め付けが不十分な場合、思わぬ事故、ガタつき、異音が発生する可能性があります。ご使用前には⑥ペダルに緩みがないか確認してください。

## 表示モニターについて

モニターは単4乾電池を4本使用します。電池交換の際はハンドル下部の電池カバーを外してください。お届け時、モニターには保護シールが貼られています。剥がしてからご使用ください。

### 各項目の説明

時間とカロリー、心拍数と走行距離は同じ箇所に表示されます。初期設定では5～6秒ごとに表示が変わります。表示を固定したい場合は、モニター画面を短く押し、表示したい項目に切り替えます。



## 操作方法

### 使用開始と使用停止

運動を開始するか、モニターを軽く押すことで起動します。  
運動を停止するか、モニターが押されずに約4分間が経過すると自動的にオフになります。

### リセット方法

モニターを約5秒間長押しします。

### 時間、走行距離、カロリーの目標値設定

- 時間は2:00～99:00、走行距離は1.0～99.5km、カロリーは10.0～9999kcalに設定できます。
- 目標値を設定せずに運動を開始すると、数値は自動でカウントされます。

1. 運動を停止した状態で、設定したい機能の文字が点滅するまでモニターを短く押します。
2. 目標の数値までモニターのシルバー部分を回します。
3. 運動を開始すると、カウントダウンがスタートします。
4. あらかじめ入力した目標値に達するとアラームが鳴ります。その後も運動を続けた場合は、数値が加算されていきます。

### ⚠ 注意

- 運動している状態では目標値を設定することができません。運動を停止した状態でモニターの操作を行ってください。
- スピード、心拍数、ケイデンスの目標値は設定できません。ご了承ください。

## Bluetooth接続方法

本製品はKinomap、Zwiftと接続できます。Bluetooth名は「STEADY」です。

### Bluetooth接続方法

1. アプリをデバイスにダウンロードし、アカウントを登録します。
2. バイクとアプリを接続する前に、デバイスのBluetoothがオンになっており、他の機器がBluetooth接続されていないことをご確認ください。
3. アプリを起動し、操作画面に従ってバイクと接続してください。

### Kinomap

1. アカウントにログインします。
2. 「もっと表示する」のページで「器具の管理」に進みます。ページ右上の「+」ボタンを押し、新しい器具を選択します。マイマシンの選択画面で「エクササイズバイク」の画像を選択します。
3. 「マイエクササイズバイク」のブランド選択画面で、最下部の「SENSORS」を選択します。「マイエクササイズバイク」の画面で「インタラクティブ」の「FTMS」を選択します。
4. バイクを漕ぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。

### Zwift

1. アカウントにログインします。
2. デバイス選択画面で「ライド」を選択し、「パワーソース」を選択します。
3. バイクを漕ぐとBluetoothのサーチが始まります。Bluetooth「STEADY」と接続します。
4. 「ライド」内の「ケイデンスセンサー」も同様に接続します。「パワーソース」「ケイデンスセンサー」以外の機能はBluetooth接続ができません。ご了承ください。

### Bluetoothが繋がらない場合

1. ネットワークの状態が正常であることを確認してください。
2. Bluetoothのサーチ中にバイクを漕いでいるか確認してください。
3. バイクは複数の機器に同時接続できません。他のデバイスがバイクに接続されていないことを確認してください。
4. スマートフォンの設定からのBluetooth検索は無効です。アプリ内で「STEADY」を検索し、接続してください。
5. デバイスの再起動をお試しください。
6. 上記の方法で解決できない場合は、センサーの故障の可能性があります。STEADYカスタマーサポートにお問い合わせください(P13)。



注意

- KinomapとZwiftの接続方法については、アプリのバージョンによって手順が異なる場合があります。
- KinomapとZwiftの仕様・金額・お支払い、それ以外のアプリに関しては、各アプリへお問い合わせください。

## ■ 負荷調整ノブの使用方法について

### ① 負荷調整について

本製品は、磁気抵抗・非接触タイプを使用しており、無段階負荷調整となっています。「+」(時計回り)に回すと抵抗が大きくなり、「-」(反時計回り)に回すと抵抗が小さくなります。スプリングが通常の状態に戻ると、最小負荷となります。

#### ⚠ 注意

- ・「+」(時計回り)に回しすぎず、最大負荷の状態で使用しないでください。ブレーキレバーがフライホイールに触れ、異音の原因となります。その際は「-」(反時計回り)に回し、負荷を軽くしてください。
- ・「-」(反時計回り)に回しすぎると、負荷調整ノブが抜ける場合があります。その際は負荷調整ノブを本体に挿し込み、「+」(時計回り)に回して取り付けてください。



### ② 運動中の停止方法

運動中に停止したい場合には、画像のように負荷調整ノブを押し停止してください。

#### ⚠ 注意

- ・必要以上にブレーキをかけると、本体内部のブレーキレバーが摩耗して薄くなります。抵抗を高める目的ではブレーキを使用しないでください。
- ・高速で走行すると、フライホイールの回転はすぐに停止できません。脚の力でフライホイールを止めようとせず、適度にブレーキを使用してください。フライホイールが完全に停止するまで、バイクを降りないでください。



## 移動方法について

ハンドル先端部分を握り、床に向かって押し下げます。土台前に付いている車輪が床に接触した状態で移動させることができます。



注意

柔らかい素材のキャスターを使用しておりますが、床の素材によっては傷がつく可能性があります。必ず床への傷対策を行ってください。



## 製品の仕様について

長さ	約100cm
幅	約53cm
高さ	約112cm
サドル-ハンドル間	約74-82cm
サドル-ペダル間	約70-90cm
ハンドル-床高	約87-99cm
サドル-床間	約82-100cm
サドル長さ	約27cm
サドルの高さ調整	8段階
ハンドルの高さ調整	6段階
耐荷重量	最大120kg



## 不具合と感じたら

症状	対応方法
異音がする	サドル下部の六角ナットを締め直してください。(参考:P5) ペダルが緩んでいる場合があります。スパナを使用し、きつくペダルを締めてください。(参考:P8) 負荷が高すぎる場合があります。負荷を調整してください。(参考:P11)
本体ががたつく	土台下の水平アジャスターを調整してください。(参考:P4)
サドルががたつく	サドル調整ノブ、サドル前後調整ノブ、サドル下部の六角ナットを締め直してください。(参考:P5)
ハンドルががたつく	ハンドル接続ボルト、ハンドル調整ノブを締め直してください。(参考:P6)
サドルの角度がズれる	サドル下部の六角ナットを緩め、角度を調整後きつく締め直してください。(参考ページ:P5)
モニターの不良	ケーブルの接続状況を再確認してください。(参考:P6) 電池を交換してください。(参考:P9)
モニターに表示される心拍数が不正確	本製品は医療機器ではないことを予めご了承ください。実際の心拍数とモニターの数値とで差異が発生する場合があります。(参考:P9)
本体のシルバー部分、ハンドルのセンサー部分、表示モニターの小傷	お届け時には保護シールが貼られています。保護シールが傷ついている場合があります。剥がしてご使用ください。(参考:P3、6、9)

## カスタマーサポートへ連絡したい場合

- 製品に関するご質問、不具合がございましたら、QRコードを読み込んでいただき、LINEかメールフォームからお問い合わせください。
- 快適に未長くご使用いただくためのアフターサポートとして、音声電話によるヒアリングを行うことがあります。

LINEでのお問い合わせ



STEP 01  
"お役立ちメニュー"  
をタップしてください。

STEP 02  
ご質問を入力してください。

STEP 01

STEP 02



お問い合わせフォームからのメール送信



お名前、メールアドレス等をご入力の上、送信ボタンをクリックしてください。



### 【CS連絡先 & 営業時間】

03-4530-3012

support@steadyjapan.zendesk.com

受付時間:月～金 9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)

### 【製品のシリアルナンバーの確認方法】

シリアルナンバー(製造ロット)は、ハンドル下部の電池カバーに貼られたラベルに記載されています(例:SJ001)。お問い合わせの際にお知らせください。

## ■ アフターサービスについて

### 保証期間

- ・ご購入日より365日間となります。公式LINEにご登録いただくことで500日に延長が可能です。
- ・保証期間内に取扱説明書に従ってご使用になっていた場合、保証適用外の事項に該当しない場合は無償交換が可能です。
- ・保証期間が過ぎた場合は、仕入れが可能な部品に限り有償にて部品交換させていただきます。

LINE公式アカウントに  
友だち登録すると

保証期間が

500日に延長! /



### 保証適用外の事項

- ・取扱説明書に記載されている正しい組立て方法、使用方法、保管方法、取り扱い方法以外のご使用により不具合や事故が発生した場合
- ・仕様の範囲内と判断された場合(駆動音、製造過程で生じる気泡、折れ、細かな汚れ、輸送中の小傷や擦れなど)
- ・輸送中に外箱や梱包材が破損した場合でも、製品に不具合が生じていない場合
- ・中古品のご購入や公式サイト/公式販売モール以外でご購入した場合(有償での対応は可能)
- ・ご自身の修理や改造などが見受けられる場合
- ・地震、火災、台風、落雷などの天災や、薬品、酒、水、石、塩分など、外から受ける要因による不具合や事故が発生した場合
- ・未開封、未使用に関わらず保証期間を過ぎた場合

### STEADYカスタマーサポートへのお問い合わせ方法

- ・不具合が疑われる場合や、交換をご希望の場合はSTEADYカスタマーサポートまでお問い合わせください。(参考:P13)
- ・お問い合わせの際には、不具合が疑われる箇所の画像もしくは動画を添付してください。

### 注意事項

- ・製品の不具合などによりお客様に生じた機会損失や金銭的損害については、弊社では責任を負いかねます。
- ・保証期間内の製品で不具合と判断した場合は、基本的に部品交換の対応を取らせていただきます。出張サービスや業者手配による設置、組立て、解体、梱包、修理等は原則対応しておりません。

こんにちは、カスタマーサポート代表の山田です。  
お客様の期待に寄り添える製品やサービスをお届けし、  
「さらに何かできるか」を大切にしています。  
お客様の笑顔が私たちにとっての喜びです。  
山田 裕希



